

1年「音楽」の授業の様子です。

令和4年6月16日

琴の演奏



生徒の声

弾き初めは指の使い方や楽譜の読み方が難しかったのですが、練習していくうちに弾けるようになっていくのが楽しかったです。日本の楽器に触れる貴重な体験ができました。

小学校の頃、琴の授業をしたことがあるのですが、正直あまり印象がありませんでした。しかし、高校での琴の授業は細かい指の動き、指の形、姿勢など丁寧に教えてもらい、琴への興味が高まりました。授業では、人数の関係でペアがないので、ずっと独りで弾いているのですが、全くあきることがありません。たまに先生からアドバイスをもらうのですが、どんどん成長している気がします。琴の授業は、自分が最初思っていたよりも楽しいです。



音楽の授業で琴を学習し、私は琴に興味を持ちました。特に琴の音色がとても好きです。先生の音色を聴いてから弾くと「もっときれいに弾けたらな！！」と思うことがあります。授業を通して上達していきたいと思います。

琴に触れたのは、初めてではなかったけど、座り方などを初めて知りました。琴を弾いてみて、焦らず弾けば、完璧に近い演奏をできるんじゃないかと思いました。楽譜は音符より見づらい。特に中指の爪が弾いている途中ではずれそうで怖かったです。二番から早くなりがちだから、気をつけたいと思います。

両手を使うのは思った以上に難しかったけど、集中して弾くことができたこと、目立ったミスをすることなく最後まで弾けたので、少し自信ができました。メロディーのところは指を覚えたら、すぐ弾きやすくなったので、今後もその指の感覚を忘れずに弾きたいと思います。

授業者から

新学習指導要領になり、日本の伝統楽器に触れる機会ができ「箏の音色の美しさまで感じられることができれば」と思い、二人ペアでの授業を行っています。「基本の演奏法をしっかり身につける」、「箏譜を読めるようにする」ことに重点をおいて毎時間行うことで、多くの生徒が授業の中で合奏まで楽しめるようになっていくことを実感しています。楽器が演奏できるようになると、生徒は自然と積極的になってきます。箏が「何かできる楽器」の一つとなり、将来、高校の授業で箏を演奏したことを思い出すことがあったらとても嬉しいことだと思っています。日本古来の楽器の良さを感じてくれるとともに、皆で合奏することの楽しさを味わうことで、様々な音楽に興味を持ってくれることを願っています。